

女性管理職が語る

パートナーと応援しあう

女性がキャリアを積んでいく際、悩みの一つにパートナーとどのよう

に共働きをしていくかという問題があります。子育てや介護、お互いの転勤などが関わってくるおさうです。当社のキャリア研修でもこれに関連した質問がよくでます。

ポールディレクター

長神 真梨子氏



ちょうじん・まりこ 2010年大学卒業、日本法人マーケティング本部入社。ベビーケアやホームケア事業部などを経て、17年より2度目のシンガポールに赴任中。3児の母。

話し合います。

ときには、どちらかのキャリアを優先するタイミングがあるかもしれない。しかし、話し合いの結果や状況はその時々で変わるものですし、それでいいのだと思いません。そして自分のキャリアを優先してもらったときは、感謝を忘れないように意識しています。

進めたいという一本道にこだわらず、柔軟性を持っておくことです。会社の様々な制度の活用、転職や副職など自分にはいろいろな選択肢があると思えると、気持ちも少し楽になります。

選択肢を広げるには、意図的に仕事上のスキルを身につけることが重要です。誇りに思えるようなスキルなどないと思う人もいるかもしれないですが、自分の仕事を細分化してみて「得意である」もしくは「他の仕事でも

生かせる」と思うことを見つけてみてください。それを見つけたら、今以上に伸ばす努力をしてみたいと思います。そして最後は「心からお互いを応援すること」です。「自分は育休をとらないといけないのにパートナーは思う存分に働けることができている」「私は転職についてきてあげた」など不満をためこみつつけると、それが態度に出ます。そうすると忙しさも相まって、相手もネガティブな行動に出るしまいがちです。

2つ目は、自分もパートナーもキャリアはこう

が、お互いに感謝の気持ちをお互いに感謝の気持ちを少し大きなくらいの言葉や態度で示し、お互いに応援することが共働きのカップルには大切だと感じています。